

コンテンツチェックツールの紹介

2009年2月6日

ECALS実用化専門委員会

— 目 次 —

1. ツールの概要
2. 処理イメージ
3. デモンストレーション
4. 出力結果サンプル（サマリ情報）
5. 出力結果サンプル（不適合詳細情報）
6. （参考）主なチェック内容
7. まとめ

1. ツールの概要

ECALSカタログ情報コンテンツ（部品メーカーが作成したもの）の充実度・鮮度向上を目的として、コンテンツとECALS辞書の比較により、記載状況を分析を行うツールです。

分析の結果は2種類のファイルに出力されます。

- ① 企業、部品分類、言語、正常件数、不適合件数
- ② 不適合があった場合の不適合理由

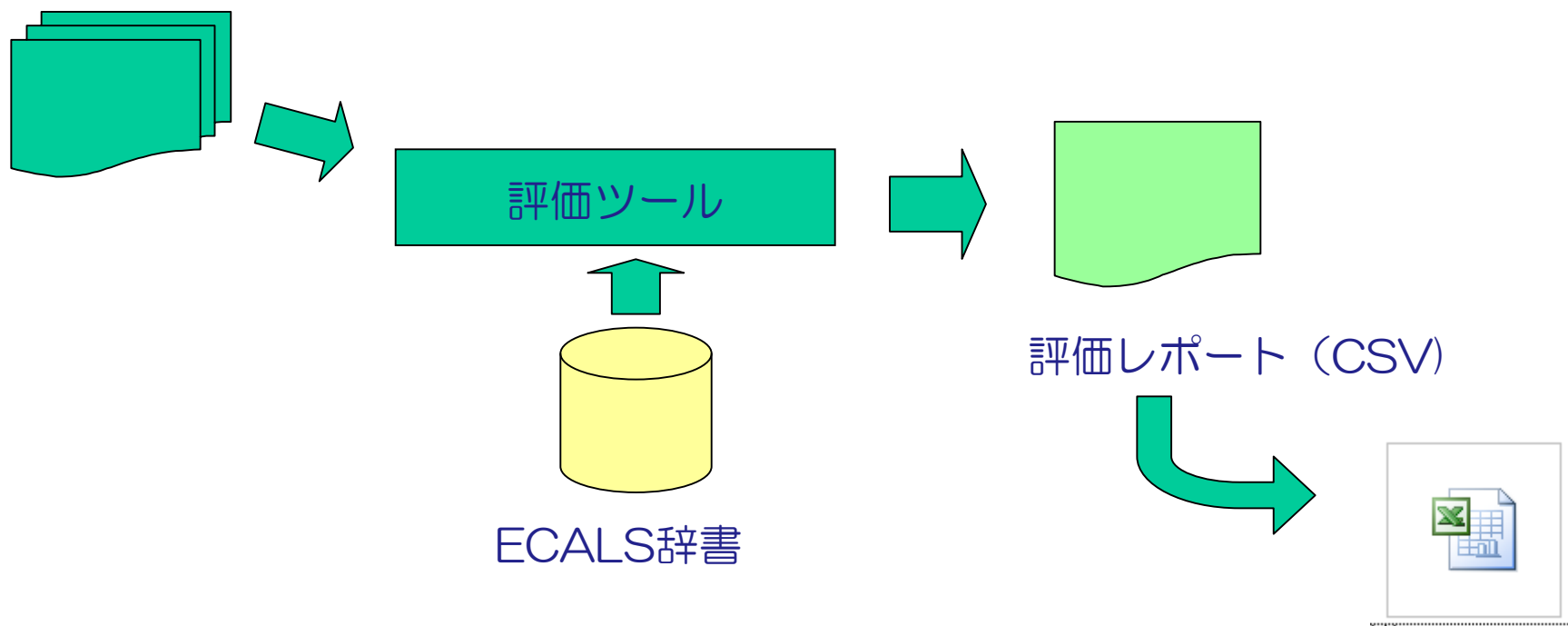
コンテンツ分析ツールは、大きく基本的な記述方法のチェック、データ型によるチェック、個別項目のチェックを行います。

この結果を活用し、充実度や信頼し評価可能です。

2. 処理イメージ

コンテンツ評価ツールは、提供・活用合同WGによる、コンテンツ充実度測定を行うためのツールです。ECALSコンテンツを辞書の定義と比較して、プロパティ毎に記述有無や形式の整合（プロパティ値が正しいか）などをチェックします。その結果を企業・クラス毎にレポートする機能を提供します。

ECALSコンテンツ



3. デモンストレーション

設定方法の解説

コンテンツの
入力フォルダ構成の解説

コンテンツ分析ツールの実行

結果サンプルの紹介

結果の分析（例）

4. 出力結果サンプル (サマリ情報)

企業コード	言語	部品分類コード	正常	不適合
0147xxxxxxxxxxxx00	ja	XJA015	120	15
		XJA024	2,805	0
		XJA768	15,204	192
	en	XJA015	120	15
		XJA024	2,805	0
		XJA768	15,204	192

チェック対象のコンテンツを言語別、部品分類コード別に正常件数、不適合件数を出力します。
ファイル名は、Resultyyyymmdd_hhmm.csvです。

5. 出力結果サンプル (不適合情報)

コンテンツのファイル名	品番	エラーコード	エラーレベル	クラスコード	プロパティ	エラー内容
XJA024xxxxxxxja.xml	xxxxxxx	4000	W	XJA024	XJE016	必須項目 パッケージ型名 の値が入力されていません
XJA024xxxxxxxja.xml	xxxxxxx	4000	W	XJA024	XJE028	必須項目 製品発売日付 の値が入力されていません
XJA024xxxxxxxja.xml	xxxxxxx	4000	W	XJA024	XJK395	必須項目 包装形態 の値が入力されていません
XJA024yyyyyyya.xml	yyyyyy	4000	W	XJA024	XJE016	必須項目 パッケージ型名 の値が入力されていません
XJA024yyyyyyya.xml	yyyyyy	4000	W	XJA024	XJE028	必須項目 製品発売日付 の値が入力されていません

不適合が発生した場合の詳細情報を出力します。
このデータを活用することにより、不適合理由の分析をすることができます。
ファイル名は、Detailyyyymmdd_hhmm.csvです。

6. (参考) 主なチェック内容

1. 基本的な記述方法のチェック

ECALS辞書に基づくテンプレートに存在するプロパティが有効なデータ型が指定されているか
ECALS辞書で指定されるプロパティのデータ型と合致するか
レベルの指定があるとき、有効なレベルが指定されているか
Prefixの指定があるとき、有効なPrefixが指定されているか

2. データ型毎のチェック

文字列型の場合、サイズが日本語512Byte、英語256Byte以内か
数値型の値が有効な数値列か（文字などが含まれないか）
ファイル型の場合、ファイル名が256Byte以内か
ファイル型、Uri型の場合の出現回数は20以下か
ENUM型の場合、プロパティ値辞書に定義された有効なデータか
Boolean型の場合、TRUE、FALSE、空白のいずれかになっているか

3. 個別項目のチェック

XJE010：製品品番は必須であり、半角文字限定で長さは35Byte以内か
XJE005：部品分類コードは必須であり、指定された末端クラスと合致しているか
XJE012：企業コードは必須であり、設定ファイルに指定された企業コードとの合致するか
XJE003：作成日付は必須であり、妥当な日付が指定されているか
XJE004：最終改訂日付は必須であり、妥当な日付が指定されているか

7. まとめ

コンテンツチェックツール、およびECALS辞書は、JEITA ECセンターのホームページからダウンロードします。

コンテンツチェックツールは、2009年3月頃公開予定です。

是非、ECALSコンテンツのさらなる品質向上にご活用頂ければ幸いです。

ありがとうございました。